阿蘇北中学校だより

兜岩

№１１
平成２３年２月２８日
阿蘇北中広報誌係
文責　小原 宮本 西村

「河畔随想」～挨拶運動に寄せて～

校長　麻生 廣文

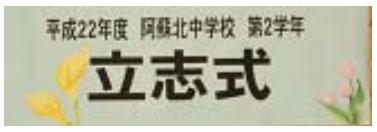
テレビでは、日本ハムファイターズの斎藤佑樹投手の練習風景やインタビューの様子がよく放送されている。彼の受け答えはさわやかで、すがすがしい。何かが秘められている感じがして、周囲が引き込まれる魅力がある。

さて、阿蘇北中学校の一日は、黒川河畔、三久保橋のたもとの挨拶運動から始まる。その挨拶のやりとりが響くと（今日も一日が始まるな）と気が引き締まる。入学した頃は照れていた一年生も元気な声が返ってくる。学校にすがすがしさと活気があふれ始める時間だ。日本一めざして真剣に取り組んでいるこの学校の生徒はすごい。挨拶は「自分から・明るく・さわやかに」が原則だと思っている。

ところで、私は毎日片道四十五kmを熊本市から通勤している。道半ばの大津町瀬田・錦野付近では、朝、阿蘇方面や熊本方面に向かう車がたくさんすれ違う。なのに、道が狭く離合できない所が四か所ある。互いに譲り合うしかない。だから、先に入った車が優先される暗黙のルールが生まれる。当然、離合箇所で待ったり待たせたりすることになる。互いに合図を送りながら離合する。私も合図を必ず送っている。片手を挙げること。浅くお辞儀すること。軽くクラクションを鳴らすこと。昔はこの中の一つをしていたのだが、ここ数年間は「ありがとうございました。」と言葉も添えている。四つのしぐさをしていることになる。いつぞや、この道を通ったとき、同乗した妻から「あなたは忙しい人ね。」と苦笑されたことがある。すれ違うたびにこれらのアクションがなされ、二台待っていれば二回することになるからだ。車内のお礼の言葉が相手に届くこともなく、四つ目はほとんど意味をなさないのだが、今も続いている。

三十年ほど前、熊本市内の狭い道で徐行しながら対向車とすれ違ったとき、軽くクラクションを鳴らし、お辞儀して通り過ぎた。すると、助手席の同僚の先生が、「知り合いですか？」と尋ねた。「いや知らない人だけど、ゆっくり進んでくれたから。」と答えたら「えーっ！」と驚いていた。知らない人に挨拶するのは理解できなかったのだろうか。私が田舎育ちの古い人間だっただけのことかもしれない。

いよいよ、三学期になった。橋のたもとで、毎朝登校する生徒たちに、「おはようございます。」にあわせて、軽くお辞儀を加えることにした。ひと月もせずに、ほとんどの生徒が自然に「お辞儀付き」に変わった。ピッチャーがボールを投げなければ、キャッチャーも返しようがないし、バッターも打ちようがないのだと思いながら、職員室へ戻った。



が行われました。

１５日（火）の午後、進路学習の一環として、多目的室にて２年生の立志式が行われました。１年生の頃から総合的な学習の時間に地域学習や農業体験を行ってきたことや、将来阿蘇を担っていく子どもたちであることから、阿蘇火山博物館の学術顧問の須藤靖明先生に講演をお願いしました。講演では、先生が阿蘇山に惹かれた魅力や、火口の湯だまりや赤水の地名の由来などの阿蘇に関すること、また、海外での調査などを含めたこれまでの研究生活についてなど、人生の先輩としてのアドバイスについても語っていただきました。

多くの生徒が火口の湯だまりは雨水と思っていたので、ほとんどがマグマの成分であり、この状態も噴火であると聞いて驚いていました。さらに、噴火のサイクルでストロンボリ式噴火をしているときが阿蘇山にとって安定している状態であると聞いてやや不安になりましたが、阿蘇山のことをよく知って仲良く暮らすことが大事だと学びました。また、赤水の地名の由来を聞いて、地元のことなのに知らないことがまだあることを知りました。

そして、これから進路を決めていくにあたっては、いつも**好奇心**を持って生活していくことが大事であることや、受験勉強をしているときなどもそれだけにならず、「遊びをせんとや」という気持ちが大事であることを学ばせていただきました。

講演の後には、２年生を代表して生徒会の小坂真未さんと日田裕菜さんが阿蘇北中学校の最後の卒業生としての責任と誇りを「誓いの言葉」として述べ、最後は全員で校歌を斉唱し、終わりました。立志式後には、教室にもどって各自の決意表明を書き、また、自分のこれまでを振り返って、これからの生活に活かし、仲間との絆を深めていく観点から自分史に取り組んでいます。来年度の閉校に向け、さらに頑張っていく２年生をよろしくお願いします。

３年生「**最後の勉強会**」始まる！

２１日（月）から ３月の公立高校後期選抜試験に向けて最後の勉強会が始まりました。参加者は、専願・前期合格者の内、高校関係で部活動に参加する生徒以外の生徒、後期受験の生徒で塾などがない生徒たちです。

この勉強会は、「１０９名みんなで、最後まで受験に向かうという姿勢と雰囲気を卒業まで作り続ける！！そしてみんなで胸張って卒業するために！！」という趣旨で行われています。

放課後に各クラスをのぞいてみると、黙々と問題集に取り組んでいる姿が見られます。中には、お互いに教えあいをしている姿も見られ、学年としてのまとまりと、３年生の絆の深さを感じます。全員に、喜びあふれる春が訪れることを切に願います。

私たち、北中が大好きです☆

挨拶運動に立っていた生徒会長が、後ろの石碑を見て、「この石をキレイにしたい。」とつぶやいたことから、早速、次の日には執行部と生活委員長・副委員長が朝から掃除をしていました。この行動力には驚きました。これで、先輩方も気持ちよく卒業していけますね！

お世話になっている地域への ボランティア活動

２４日（木）の午後に、２年生のボランティア活動が行われました。これは全校で行っているもので、１、３年生は２学期に終わっています。１年生は地域学習の際に内牧のゴミ拾いをおこない、３年生は学校周辺のガードレールやお世話になっているスクールバスの清掃を行いました。

この日、２年生は１組「中央公園」、２組「阿蘇市立体育館」、３組「はな阿蘇美」の掃除を行いました。窓拭きや外回りのちり拾い、床拭きなどを行うことでキレイになって、日頃の感謝の気持ちを行動で示すことができました。

岩佐祐子先生　ご結婚

２６日（土）に１年２組担任の岩佐祐子先生の結婚披露宴がありました。披露宴にはクラスや学年からなどのビデをメッセージが届けられ、会場が温かい雰囲気に包まれました。また、陸上部の保護者の方などからもお祝いの電報が届き、お二人の幸せいっぱいの姿が見られました。山方祐子先生おめでとうございます。お幸せに☆